

キウラート

～作り方～

エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「主剤」と「硬化剤」の2液を混ぜて
化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----

注意点①

比率を間違えない



注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **25℃ 2日間**

適応作品 波アート等
の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23℃ 3日間**

適応作品 トレーやキューブ等
の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **2:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23℃ 2日間**

使用用途 作品の
コーティング

用意するもの



材料

■クリスタルモールドレジン ■封入物(花材・穀物・ホイルなど)

道具

□電子スケール □キウラートモールド □はさみ □ピンセット □ガムテープ □竹串
□紙コップ(205ml) □混ぜ棒(太) □ビニール手袋 □プラスチックにクリアファイル
を付けた物(ファイルの外側=ツルツル面が表に来るように接着)

★作り方★



①ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまうたり痕になってしまう為、要確認する。

また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは交換する。



②封入したい物を決める

はさみでモールドに入る大きさにカットし、実際に配置する。
空気を多く含んだフワフワしたような素材は気泡が入りやすいので避ける。

無理に押し込むと表面がボコボコの仕上がりになる為注意。
※モールドが逆さまなので下に入れたものが表面に出る

1日で作る事も可能ですが、作品の裏面に気泡が出来やすいため レッスンやエポキシアートキットでは2日かけ綺麗に仕上げる

(1日で仕上げる方法もあわせて紹介)



③レジン进行混ぜる

主剤3:硬化剤1の割合で**クリスタルモールドレジン**を混ぜる。
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまで
しっかりと混ぜる。

1日仕上げ：レジン使用量140g(主剤105g:硬化剤35g)

2日仕上げ：1日目のレジン使用量100g(主剤75g:硬化剤25g)

⇒硬化後、レジン不足を足す。

※気泡がしっかり抜けてから④に進む



④レジン进行モールドに入れる

一度封入物を取り、モールドの平らな部分と溝全体が浸かる
までレジンを注ぐ。

溝部分は気泡が残りやすい為、指で押し気泡を抜く。



⑤花材を入れ、残りのレジンを入れる

花材の上にしっかりレジンがかかるように、レジンを注ぐ。

2日仕上げの場合：モールド8分目(フチまで)を目安に、入れる
量を調整する。

1日仕上げの場合：表面張力でぷっくりするくらいまで注ぐ。

※花材を混ぜ棒で軽く押さえて、花材の下にある気泡を取り除く

※レジンがハネるので、目に入らないよう注意

※花材の量によってレジンが余る場合がある

⑥～⑧は2日仕上げのみ、1日仕上げは⑨にスキップ

※レッスンでの2層目は講師が代わりに作成いたします



⑥モールドのフチの気泡を取る

モールドのフチまでレジンを入れたら、竹串などでなぞり
気泡を取り除く。



⑦板で蓋をする

レジンとの接着面はクリアファイルのツルツルの面になるように
板で蓋をする。

1日目のレジンがしっかり固まったらフタを外し2日目の作業へ
(目安は2日後以降)



⑧ レジンを混ぜる

クリスタルモールドレジン(主剤3:硬化剤1)を混ぜる。

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。

※計算上だと2日目のレジン使用量は40gだが、花材がレジン进行吸うことも懸念されるため、**多めの60g(主剤45g:硬化剤15g)**を準備

※気泡がしっかり抜けてから⑨に進む



⑨ レジンを入れ、 モールドのフチの内側の気泡を取り除く

表面張力でぷっくりするくらいまで注いだら、モールドのフチの内側に気泡が残しやすいため、竹串などでなぞり気泡を取り除く。

※1層目でコーティングしそびれた花材の下にもレジンを行きわたらせる

※花材の量によってレジンが余る場合がある



⑩ 板で蓋をする

レジンとの接着面はクリアファイルのツルツルの面になるように板をモールドのフチからゆっくりと、空気を抜きながら降ろす。空気が入っていない箇所を指で押さえ、外側に空気を逃がすようにする。

※慌てて蓋を持ち上げないように

※大きな空気が入ってしまうとバリになるので注意



⑪ 硬化後、板を取りモールドから外す

約3日後、完全硬化後にモールドから外す。

バリができていた部分はヤスリで削る。

※面を削るとキズが付き、曇ったようになってしまうので注意

裏面に気泡が出来た場合は、UVレジンで埋めることが出来る。

※レッスンにて気泡が出来た場合は、UVレジンで手直した状態でお客様の所にお届けする場合がございます



キウラート完成！



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

**エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒**



LINE



Instagram

封入物一覧

こちらの表に記載のない花材は、
エポキシアート協会でも未確認の状態です。
その点をご理解の上で、
使用（チャレンジ）していただくことは可能です。

花材選び と 封入時の注意事項

- ・ モールドに入る大きさの物を選ぶ
- ・ 淡い色は退色しやすい
(パステルカラーよりハッキリした色の方が色持ちが良い)
- ・ 厚みのある花材（ポアプランツやヘリクリサムなど）は
手で押しつぶして入れる
- ・ 実物は中に空気が入っているので割れてしまうので避ける
- ・ 細かい花材ばかりだとレジンを入れた時に
花材が動いたり浮いたりしやすい
- ・ 柔らかいものは多少は上に出てしまってもフタをするので大丈夫
- ・ 硬い封入物はモールドから飛び出ているとフタをした時に
閉まらなかったり、無理に押し込むと表面がボコボコの仕上がり
になってしまうので注意

おすすめ花材

ヘリクリサム	大きさに注意
デージー	大きさに注意
ポアプランツ	手の平で潰して入れる
ラグラス	1～2本、抜け毛を先にしごいておく
フローレンティナ	
ハッピーフラワー・ ジャジルダ	
カスミソウ (ゴールド・シルバー)	他の色は難ありに記載
稲・小麦	
アベーナ	
ハイブリット スターチス	花先がポロポロ落ちやすいので注意
スターフラワー	花先だけだと動く、莖ありだと花は上向きになる
ミリオクラダス	
アスパラスプリング リー	
スケルトンリーフ	1～2枚、白は透けて目立ちにくくなる
ティーツリー	

使用可能だが、難あり花材

[illegible]

ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒

